



各年齢層に沿った読書環境づくりと取組の目安

項目	年齢		本と出会う			本と仲よくなる		本の世界を楽しもう	本を進んで読もう	本から学ぼう	本を読んで考えよう			
			0歳～3歳頃		3歳～6歳頃		7歳	～	12歳	13歳～15歳		16歳～18歳		
			保育園		保育園・幼稚園		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生		高校生		
成長段階における読書の意義			<p>乳幼児期での本の読み聞かせや語りかけは、聞く力や集中力を養うだけでなく、周りの人との心のふれあいにより、心の安定につながっていきます。自我が芽生える3歳頃には理解力も増してくるので、本とのふれあいが、健やかな成長を助けてくれると考えます。</p> <p>また、保育園、幼稚園に入ると、様々なことを学びはじめ、集団での読み聞かせも経験します。お話の内容がよく理解できるようになるため、昔話などの少し長めのお話も楽しめるようになってきます。</p>				<p>小学校の6年間(7歳～12歳)は、読書の習慣を築く大切な時期です。この6年の間に、子どもの読書のしかたは大きく変わります。「大人に読んでもらう(一緒に読む)」から「一人で主体的に読む」へ、移行していきます。</p> <p>また、学校図書館や図書館で、たくさんの本と出会い、自分の興味のある分野の本を選び、読書の幅を広げていく大切な時期になります。</p> <p>学校や家庭が適切・効果的に関わり、子どもの読書意欲をサポートしていく必要があります。</p>				<p>多様なものに興味を持ち、行動範囲も広がり想像力や判断力などが著しく磨かれ、心身ともにさらに成長する大切な時期です。</p> <p>勉強やクラブ活動、趣味などで読書にかけられる時間が少なくなる傾向にありますが、学校での朝の読書活動の取組などで本とのふれあいは可能です。</p> <p>この頃は、子どもの個性や自主的な読書を尊重しながら、目的や興味に応じた魅力的な本に出会えるよう、読書環境を整えることが必要です。</p> <p>また、友だちや先生、身近な大人たちのおすすめの本を知り、本と人間との関係にも思いを巡らしながら本を読む楽しさも体験することが大切です。</p>			
望まれる環境整備	<p>① 親子での取り組みが大切。絵本などを媒体にして、お話や声かけをたくさんしてあげる。(リズムカルな言葉で、身近なものを題材にした絵本が好ましい。)</p>		<p>① 本の中には、楽しいことが詰まっているということを、子どもに伝える。(絵と文章が一体となったものが良い絵本)</p>		<p>① 図書館、学童クラブ、寺子屋教室などで実施されている「おはなし会」に参加する。</p>		<p>① 読書からはなれやすい時期なので、授業や行事などと関連させながら、子どもが本を読みたくくなるような働きかけを行う。</p>		<p>① この年代の読書は、自我や感情にこだわる時期であり、広い世界への旅立ちの準備期間になることから、純文学、哲学書などにも興味に向くようになる。</p>		<p>① 豊富かつ最新の資料、幅広いジャンルの多くの図書を整備する。</p>			
その効果	<p>大人の言葉に耳をすませることができるようになり、聞く力が育つ。</p>		<p>本を媒体にしてコミュニケーションをとることができ、理解力、集中力がつく。</p>		<p>集団での「おはなし会」に慣れていき、長めのおはなしも聞けるようになる。</p>		<p>自分で本が読めるようになってくるので、身近にたくさんの種類の本がある環境を作ってあげる。</p>		<p>遊びとは異なった視点から、真剣に、本格的な読み方が出来るようになる。</p>		<p>各教科等の学習や様々な読書活動ができ、生徒が自主的に図書館に足を運ぶようになる。</p>			
			<p>② お話を楽しめるようになったら、ストーリーのあるものを読んであげる。(昔話が最適)</p>		<p>② 自分で本が読めるようになってくるので、身近にたくさんの種類の本がある環境を作ってあげる。</p>		<p>自分の読みたい本を、選べるようになる。</p>		<p>子どもたちが、幅広い分野の中から、興味のある本を選べるようになる。(目的にあった本を選ぶ力がつく。)</p>		<p>② 楽しむための読書だけでなく、調べ読みや考え読みなどにも興味を持つようになる。と良い。</p>			
			<p>子どもは想像力をはたかせ、疑似体験をすることで、本の世界を体験することができるので、感性、想像力が豊かになる。</p>		<p>③ 学校での読書指導が段階的に行われ、多くの本と出会う時期なので、読書をすることは楽しいということを学び、家庭での読書を楽しむことができる。</p>		<p>読書習慣が身につく。</p>		<p>学習や社会生活に活用することができる情報を使う力が育つ。身近な人と読書体験を交流することで、読書で人間関係を深める。</p>					
具体的方法	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせ 声かけ スキンシップあそび 		<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ うたあそび 紙しばい 手あそび わらべうた 		<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ 読書相談(良書の紹介) ブックリスト等の配付 朝の読書活動 アニメーション 		<ul style="list-style-type: none"> ブックトーク ストーリーテリング 本を活用した学習 保護者への意識啓発 		<ul style="list-style-type: none"> ブックトーク 朝の読書活動 ブックリスト等の配付 読書相談 本を活用した学習 保護者への意識啓発 		<ul style="list-style-type: none"> 図書館オリエンテーション 朝の読書活動 学習支援 テーマ展示 新着情報など広報活動 授業との連携 レファレンスサービスの充実 ビブリオバトル 			